

輸出事業計画

※申請者名：新珠製菓株式会社、品目：羽二重餅・大福

1. 輸出における現状と課題

○現状

米国、香港など一部輸出実績はあるが小規模であり、取引先の拡大を図る。

○輸出拡大に当たっての課題

輸出のターゲット国としてマレーシア、シンガポールに重点を置いており、これらイスラム圏の国への輸出に向けて、ハラール認証の取得が障害となっている。

ハラール認証は、世界統一的な基準はなく宗派や国によって異なる。日本国内でも30ほどの認証団体があり、それぞれターゲットとなる国に対する輸出実績を持つ認証団体を選定する必要がある。今回はマレーシア、シンガポールなどアジアへの輸出実績を持つ認証団体に依頼する予定である。将来的に、サウジアラビアなどの中東のイスラム圏を検討する際には、さらに厳格な認証団体から認証を取得する必要がある。

2. 輸出事業計画の取組内容

日本企業現地法人を介したマレーシアへの輸出を開始し、シンガポールなどのイスラム圏を軸に輸出先を拡大したい。そのため専門機関のコンサルを受け、設備改修等改善を行い、ハラール認証を取得したい。

認証対応内容

コンサルタントからの以下の指摘事項について施設整備

○ハラール（OKなもの）、ハラーム（NGなもの）が混在する箇所あり。指摘を受けた原料保管庫、冷蔵庫・冷凍庫について、隔離が出来るよう拡大を行いスペースを確保する。

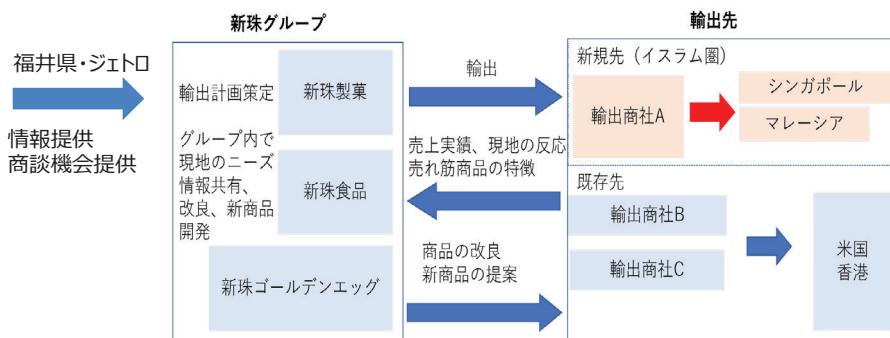
○工場で使用しているアルコール蒸散型脱酸素剤が不適とのことから、代替策としてガス置換を導入し通常の脱酸素剤を併用することでカビの抑制を図る。

○ハラール認証において重要なポイントである衛生面において衛生のコンサルタントに工場調査を依頼し、一部設備改修等行っていく。床面、壁面、天井など、異物混入や細菌の発生を指摘された箇所について、改修を行い、衛生面の向上を図る。

3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制

イスラム圏での情報収集及び効果の実証方法

売上実績、他社売れ筋商品、バイヤーからの要求事項などを指標として、イスラム教徒の食品に対するニーズ把握に努め、商品の改良開発に援用。以上を継続し行うことで取引額の増加を図る。



4. 輸出目標額

○現状（令和3年）

羽二重餅：725千円（香港）

大福：2,168千円（米国）

○目標（令和10年）

羽二重餅：7,500千円（シンガポール、マレーシア、香港）

大福：6,000千円（米国）